



敬愛

校長 吉田 修

〒183-0027 府中市本町 4-16

☎ 042-361-9303

ホームページ <http://www.fuchu03c.fuchu-tokyo.ed.jp/>

「 新年度へつなごう 」

校長 吉田 修

春が近づく季節となりました。

今年1年を振り返りつつ、気持ちを次の年に向けてほしいと思います。

1年生のみなさんには、今年度の経験を生かし、次年度、さらに成長をしてほしいと願っています。

4月には、新入生が入学してきます。先輩となることも意識し、力にしてください。そして、やってみせることのできる先輩になっていってください。

2年生のみなさんは、義務教育の「しめくくりの一年」となります。同時に、卒業後の自分の進路を決めていく大事な一年でもあります。中学校最後の一年を、充実した、そして、思い出深いものにするために、どのように生活することが望ましいのかを考え、令和6年度を迎えてほしいと思います。

そして3年生のみなさんには、一年間をともに過ごし、限られた中であっても、今を大切にするみなさんの姿勢に逞しさを感じました。楽しかった修学旅行、精一杯力を尽くした運動会、全校の中で躍動した合唱コンクールなどです。今なお大きく変化をとげている社会情勢の中ですが、その中でも自分の歩幅で、一步一步力強く歩んでいただきたいと切に願います。

「人生は選択の連続」です。その中で特に必要なことは、「自分で決めること」です。そして、自分で決める時に必要な力があります。それは、「自分も、人も大切にする力」「自分で考えて、自分で行動する力」「失敗を恐れずに、チャレンジする力」この3つの力です。人の生き方や考え方を参考にしてい。でも、最後は自分で考え、選択し、どうか、悔いのない人生を歩んでください。

最後になりますが、保護者の皆様、令和5年度の一年間ありがとうございました。心より感謝申し上げます。お子様を支え続けてこられたことに敬意を表しますとともに、これまで、本校の学校運営に深いご理解を賜りましたことに、厚く御礼を申し上げます。



私の「心に残ったあの一言」

道徳の窓
NO65

「今日は明日の準備」

主任教諭 百瀬 紀之

この言葉は「心に残ったあの一言」で私が以前に紹介した言葉です。毎年卒業する生徒に贈っている言葉でもあり、様々なところでも紹介していて皆さんよく記憶してくれていると思うので、今回は最近気になった「心に響く名言」の中から『努力する人は希望を語り、怠ける人は不満を語る』という言葉を紹介します。この言葉は、明治生まれの小説家、井上 靖の言葉です。

その人の発する言葉を聞けば、その人の人柄や態度がすぐにわかるというものです。もし、その人が希望を語っているのなら「前向きに努力をしている人」であり、逆に不満ばかり語っているのなら、その人は「自分は怠けている」と言っているようなものだということです。なぜなら本気で努力をしているれば自然と希望を口にできるものだし、怠けてばかりいればおのずと口からは不満ばかり出てくるものからです。不満ばかり言いながら努力を続けることなどできるでしょうか？「努力」と「希望」は一対になっていて、努力をするから希望が湧く、希望が湧くから努力をするのだと思います。私自身ついつい現状の不満ばかりに目を向け、努力することを怠っているの、注意しなければと自分に言い聞かせています。

「希望」と「不満」どちらに目を向けるかが大事であり、それによって怠けようとする自分に打ち勝てるかどうかが決まるということです。

人間は、つい楽な方へ流されてしまいがちです。そうならないために、意識的に希望に目を向けていく“努力”が必要です。折に触れこの言葉を思い出し、今の自分はどちらを口にしているのか、自分自身に問いかけ、「希望を語る人でありたい」と願ってはいますが・・・。

三中生の活躍

(敬称略)



「中学校人権作文コンテスト」

「多摩東人権擁護委員協議会長賞」

2年 喜多 優志

「多摩東人権擁護委員協議会長賞」

2年 本田 樹里

「スペシャルオリンピックス日本・埼玉設立 20 周年記念事業全国招待大会」

「ボランティア参加証明書」

2年 田地野 百花

(表彰メダル用リボンのデザインの企画構成に参加)

陸上競技部

「第 77 回府中駅伝競走大会」

中学生男子の部

「第 1 位」

府中第三中学校 陸上競技部

54 分 43 秒

2 年佐伯泰章 / 1 年細谷虎之介 / 1 年渡部旺太 / 1 年川瀬功貴 / 2 年村上智洋

「区間賞」

第 4 区

1 年 川瀬 功貴

10 分 14 秒

「区間賞」

第 5 区

2 年 村上 智洋

10 分 25 秒